

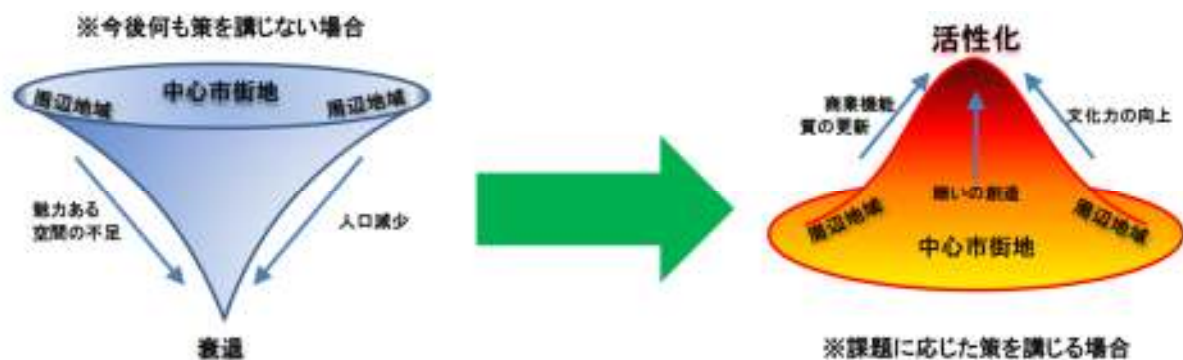
中心市街地活性化について

1 趣旨

本市の中心市街地については、通勤・通学者人口は増加しているものの、商業指標は低下傾向にあり、人口増加は2025年がピークと推測され、自由にまちで活動できる人は益々減少し、商業の衰退が加速する恐れがあると分析しています。また、中心市街地の主な課題として、「商業機能の衰退」、「人口増加が中心市街地の賑わいにつなげていない」、「市民活動の場が不足している」ことなどがあり、「魅力ある商業機能、居心地の良い空間」が求められていると分析し、これらの課題に応じた策を講じ、活性化に取り組むことが必要であると考えられます。

2 活性化に向けた今後の展開イメージ

中心市街地の人口や商業の現状・課題、求められていることなどを踏まえ、今後何も策を講じなければ、中心市街地の衰退が懸念されることから、課題に応じた策を講じて、魅力的なまちをつくることにより、周辺地域も含む活性化につなげたいと考えています。



3 課題に応じた主な策

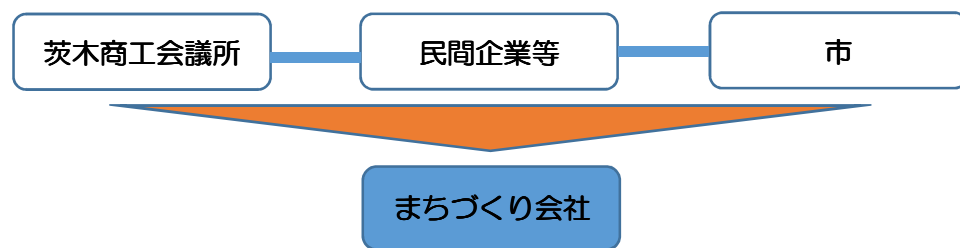
■ 1 中心市街地活性化基本計画

・概要

中心市街地の現状を踏まえ、これらの課題を解決し、魅力あるまちづくりを進め、中心市街地活性化を図るため、茨木市中心市街地活性化基本計画作成に取り組んでまいりました。この計画は、茨木市中心市街地活性化協議会による検討及び内閣府との協議等を重ね、概ね5年間で民・官で取り組む事業を実施する基本計画としてまとめたもので、市が実施する事業として「文化複合施設整備事業」、「中央公園整備事業」、「茨木市創業促進補助事業」等を掲げています。また、その他市民の多様なニーズに応える事業として、協議会等による検討を重ね、質の商業を誘致・設置する「店舗誘致・設置事業」と滞在し活動できる居心地の良い空間を創出する「公共空間活用事業」等を主な事業として抽出しました。

・まちづくり会社組織

しかしながら、「店舗誘致・設置事業」、「公共空間活用事業」等は、市等公共機関は公平性・中立性を、民間企業等は事業収益性が求められ、各々は担い手になることが困難なことから、市民の皆さまに、「このまちに住み続けたい」と感じてもらうため、中心市街地を再生し、まちの活性化に寄与する事業に取り組む組織となる「まちづくり会社」を設立するものです。中心市街地を魅力のある空間にするためには、ハード・ソフトの両面から、中心市街地を再生する取り組みが必要です。まちづくり会社は、公益性と企業性を併せ持ち、行政や民間企業だけでは実施が難しい「事業」に取り組むことが期待されることから、市の持続発展等を共通の理念・方向性として共有し、これらに共感できるメンバーにより、協議会を中心とした【まちづくり会社】を組織し、中心市街地の活性化に取り組みます。



・まちづくり会社初動期の事業イメージ

市民の皆さまが【このまちに住み続けたい】と感じ、魅力ある商業機能、居心地の良い空間を実現できるよう、店舗誘致事業や公共空間活用事業等の実施が予定されています。



魅力ある商業機能を有した店舗イメージ



JR茨木駅東口を活用した事業